

平成 26 年度 火薬類保安技術実験について

経済産業省による「火薬類保安技術実験」が矢臼別演習場で行われますのでお知らせします。

1 火薬類保安技術実験の目的

火薬類保安技術実験は、火薬類による災害を防止し公共の安全を守ることを目的に、とした火薬類取締法を適切かつ確実に施行するため、火薬類の製造、貯蔵、消費等に係る保安技術基準を策定するために行っている。

このため、昭和 36 年以来、民間の事業所や試験研究機関では実施できない爆発実験を陸上自衛隊の協力を得て行っており、この実験で得られた科学的データは、火薬類取締法の技術基準の見直しに反映されるとともに工室及び火薬庫設置の際の特則承認等の根拠データ、火薬学の研究上の資料及び事業者における保安指針などに広く活用されている。

2 実施期間 平成 26 年 9 月 7 日（日）～ 9 月 19 日（金）

3 実験場所 矢臼別演習場爆破訓練場

4 実験概要

（1） 片側垂直土堤に関する実験（4 ショット）

地上式火薬庫において、新材料又は新工法を用いた内側の勾配が 90 度の土堤（以下、「片側垂直土堤」という。）の性能を評価するため、1/8 スケール程度の爆薬を使用した爆発実験を行い、爆風圧、飛散物、地盤振動等の計測を行う。

（2） 損壊土堤に関する実験（3 ショット）

シミュレーションにより震度 7 において両側の勾配が 45 度の土堤（以下、「基準土堤」という。）及び片側垂直土堤が受ける損傷をそれぞれ推定し、その結果を模擬した土堤（以下、「損壊土堤」という。）の性能を評価するため、1/8 スケール程度の爆薬を使用した爆発実験を行い、飛散物、爆風圧、地盤振動等の計測を行う。

（3） 片側垂直土堤の飛散物防護性能評価に関する実験（3 ショット）

頂部厚変更による片側垂直土堤の擁壁に由来する重量飛散物の抑制効果を評価するため、頂部の厚さを2倍、4倍に増した片側垂直土堤を用いて1/8スケール程度の爆薬を使用した爆発実験を行い、主に飛散物の飛散状況の計測を行う。

(4) 基準爆風圧に関する実験(2ショット)

コントロール実験として、10kg及び80kgの爆薬を使用した爆発実験をそれぞれ行い、基準となる爆風圧を計測する。

5 スケジュール

9/7(日) 準備

9/8(月) 準備

9/9(火) 準備及び実験会議

9/10(水) 10:30 片側垂直土堤(ソイルセメント) EMX 10kg

14:00 片側垂直土堤(ソイルセメント) EMX 80kg

9/11(木) 10:30 基準土堤(損壊土堤) EMX 80kg

14:00 片側垂直土堤(頂部厚1倍、擁壁) EMX 80kg

9/12(金) 10:30 片側垂直土堤(損壊土堤、擁壁) EMX 80kg

14:00 片側垂直土堤(頂部厚2倍、擁壁) EMX 80kg

9/13(土) 準備

9/14(日) 10:30 基準土堤 EMX 80kg

14:00 片側垂直土堤(頂部厚4倍、擁壁) EMX 80kg

9/15(月) 10:30 基準爆風圧実験(土堤なし) EMX 10kg

14:00 片側垂直土堤(擁壁3/4、補強土1/4) EMX 80kg

9/16(火) 10:30 基準爆風圧実験(土堤なし) EMX 80kg

14:00 片側垂直土堤(擁壁1/2、補強土1/2) EMX 80kg

9/17(水) 撤収

9/18(木) 撤収

9/19(金) 予備日

・EMX: 含水爆薬

・上記実験は、天候条件に大きく影響されるため、実験項目の変更があり得る。

・上記実験は、8時30分から16時30分までとし、この時間帯以外では行わない。

◆この記事の問合せ先は下記まで
公益社団法人全国火薬類保安協会
TEL 03-3553-8762